

# 稲作情報(Vol.4)

令和4年7月4日  
 宮城県石巻農業改良普及センター  
 石巻地方米づくり推進本部  
 TEL:0225-95-7612 FAX:0225-95-2999  
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-n/>

## 気象経過

- 4月の平均気温は、中旬、下旬に平年を下回って推移したものの、4月全体は、平年を上回りました。日照時間、降水量は、平年より多くなりました。
- 5月の平均気温は、平年を上回りました。日照時間は中旬に寡少となったものの、全体としては平年を上回りました。降水量少なくなりました。
- 6月の平均気温は、上旬は平年よりも低く推移したものの、中旬・下旬で大きく上昇したため、6月全体では平年をやや上回る結果となりました。日照時間は平年並で、降水量は断続的な降雨があり平年より多くなりました。東北地方南部は6月15日に梅雨入りしましたが、6月29日頃に梅雨明けとなり、平年より25日早い梅雨明けとなりました。

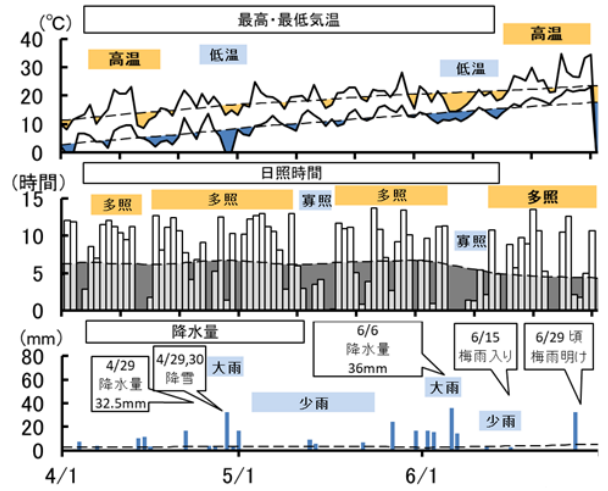


図1 気象経過(アメダス石巻)

表1 気象経過(アメダス石巻)

	平均気温			最高気温			最低気温			日照時間			降水量		
	本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	比(%)	本年	平年	比(%)
4月	10.4	9.6	0.8	15.4	14.1	1.3	5.4	5.5	-0.1	227	193	117	99	86	114
5月	15.3	14.5	0.8	19.8	18.7	1.1	11.7	11.0	0.7	221	196	113	80	97	82
6月	19.1	18.3	0.7	23.1	21.9	1.2	16.1	15.6	0.5	158	157	100	124	111	112

## 今後の気象経過

高温に関する早期天候情報(東北地方)

令和4年6月30日14時30分 仙台管区气象台 発表

東北地方 7月6日頃から かなりの高温

かなりの高温の基準: 5日間平均気温平年差 +2.4℃以上

東北地方では、最近1週間は気温の高い状態が続いています。今後2週間程度も暖かい空気に覆われやすく、気温の高い状態が続き、かなり高い日が多いでしょう。

熱中症の危険性が高い状態が続きます。引き続き、屋外での活動等では飲料水や日陰を十分に確保したりするなど熱中症対策を行い、健康管理等に注意してください。また、農作物や家畜の管理にも注意してください。

最新の気温の見通しは2週間気温予報(毎日更新)をご覧ください。



### 生育調査ほの生育状況(7月1日現在)

< 平年と比較して、草丈は長め、莖数は少なく、葉数は並、ほ場により葉色低下が見られる。 >

表2 生育調査ほの調査結果(7月1日現在)

品種	調査ほ場	草丈 (cm)		莖数 (本/m <sup>2</sup> )		葉数 (枚)			葉色 (SPAD値)				
		前年比 (%)	平年比 (%)	前年比 (%)	平年比 (%)	前年差 (枚)	平年差 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)				
ひとめぼれ	石巻広淵	52.4	91	103	562	89	96	9.9	+0.4	-0.3	40.4	+0.8	-2.0
	東松島小松	53.4	94	105	558	98	84	10.2	+0.7	-0.0	37.4	-1.4	-4.3
ササニシキ	石巻寺崎	51.9	110	114	727	112	119	10.0	+0.7	+0.3	38.8	+5.3	+0.2
	石巻稲井	46.1	95	102	459	76	83	10.0	+1.2	+0.1	40.5	+2.2	-0.5
だて正夢	東松島小松	63.6	95	110	469	83	85	10.1	0.0	-0.2	42.2	+0.7	-1.3
金のいぶき	石巻蛇田	55.1	83	96	509	78	84	10.7	-0.5	-0.1	40.9	+1.4	+0.6

注) 平年値は過去5か年の平均 葉数の前年差及び平年差の「+」は多い、「-」は少ないを表す。

< ほ場により葉色低下が見られる。 >

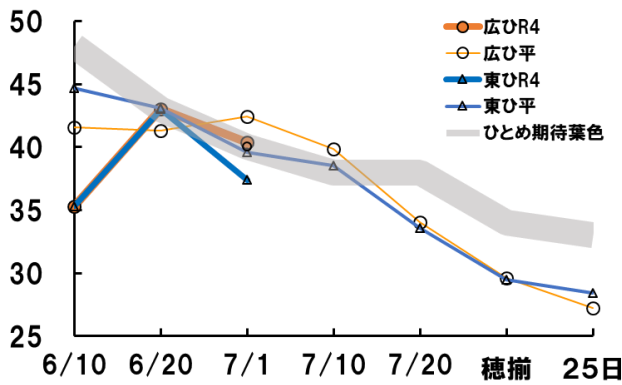


図2 葉色の推移

ひとめぼれ (移植)

※広: 広淵, 東: 東松島, ひ: ひとめぼれ

R4: R4年, 平: 平年

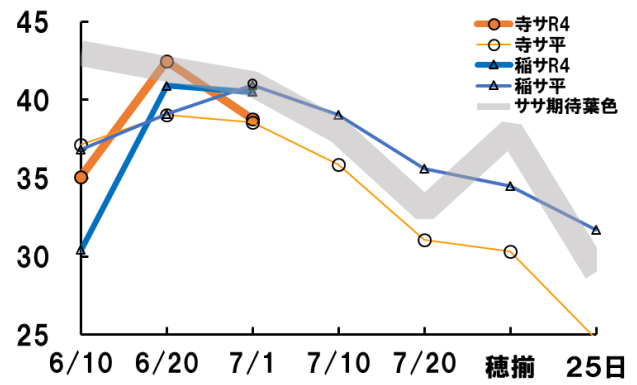


図3 葉色の推移

ササニシキ (移植)

※寺: 寺崎, 稲: 稲井, サ: ササニシキ

R4: R4年, 平: 平年

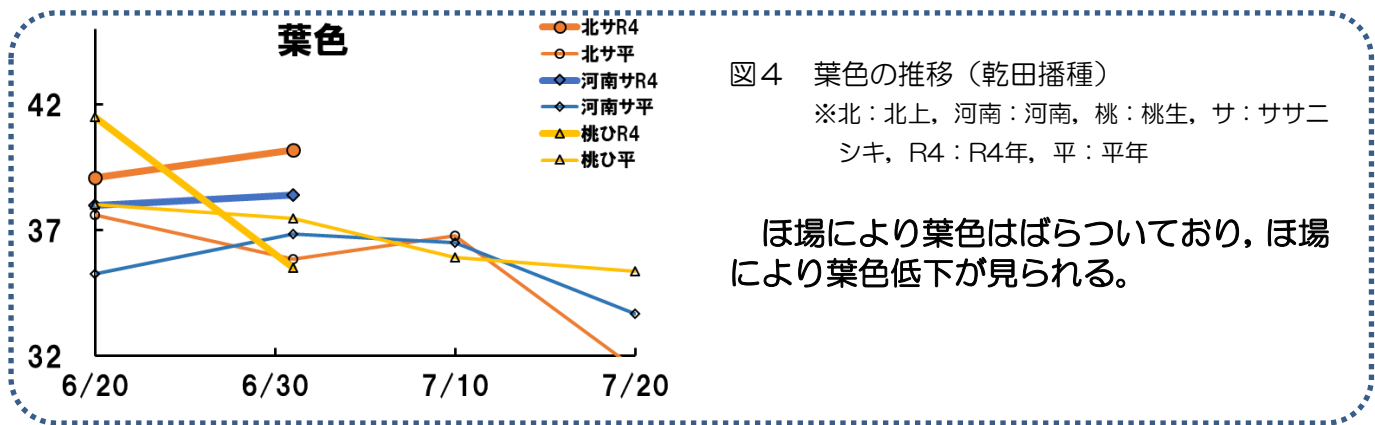
### 乾田直播調査ほの生育状況(7月1日現在)

< 平年と比較して、草丈は長め、莖数は多め >

表3 乾田直播調査ほの生育状況(7月1日現在)

品種	調査ほ場	播種日 (月/日)		苗立数 (本/m <sup>2</sup> )		草丈 (cm)		莖数 (本/m <sup>2</sup> )		葉数 (枚)			葉色 (SPAD値)						
		前年差 (日)	平年差 (日)	前年比 (%)	平年比 (%)	前年比 (%)	平年比 (%)	前年差 (枚)	平年差 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)								
ササニシキ	北上	3/26	-14	-13	136	111	121	46.7	116	122	757	120	146	8.6	-0.1	-0.3	40.2	+7.3	+4.4
ササニシキ	河南	4/3	0	0	144	120	101	50.7	122	121	678	130	134	9.4	+0.9	+1.0	38.4	+1.6	+1.5
ひとめぼれ	桃生	4/8	+13	-3	145	167	118	44.9	113	111	786	109	155	9.3	+0.6	+0.9	35.5	+1.6	-2.0

注1) 平年値は過去5か年の平均(ただし、「ササニシキ河南」の平年値は過去3か年の平均, 「ひとめぼれ桃生」の平年値は生産者と品種が同じで、ほ場が異なる5か年の平均値, 全てのほ場でR4年のほ場は、3か所ともR3年と異なる。), 注2) 播種日, 葉数の前年差及び平年差の「+」は遅い又は多い, 「-」は早い又は少ないを表す。



### 今後の管理

#### 1 水管理 ～ 中干しの終了とその後の水管理 ～

- ◎ 中干しの目安は、土の表面に軽くひび割れが入り、歩くと軽く足跡が残る程度です。幼穂形成期から出穂期にかけては、葉からの蒸散量が多く吸水量も多くなるので、幼穂形成期始期（出穂25日前）頃までには中干しを終了しましょう。
- ◎ 中干し後に急に湛水状態にすると、土壌が強還元状態になって根腐れを起こすことがあるので、中干し直後のかん水は走り水程度に行い、その後は入水と自然落水を繰り返す間断かん水が基本です。

#### 【今後の水管理のポイント】

##### <移植栽培>

- 復元田など過繁茂となりやすく、倒伏が心配されるほ場では、  
 一般ほ場より中干し開始の時期を早める。
- 大区画ほ場や排水不良田では、  
 溝切りを行い、排水を促す。

##### <直播栽培>

- 乾田直播栽培では、中干しは不要です。  
 常時湛水管理として下さい。
- 湛水直播栽培などにおいて、必要茎数を確保できないほ場では、  
 揚水停止直前に湛水し、必要茎数を確保してから強めの中干しをする。

#### 2 幼穂形成期追肥

- ◎ 次の「幼穂形成期追肥のポイント」を参考に、葉色やほ場条件などに注意しながら実施の有無を判断しましょう。
- ◎ 幼穂形成期以降の極端な葉色低下は、登熟期の窒素栄養状態を悪化させ、玄米品質の低下を招くので、必要に応じて追肥を行い、適切な葉色管理に努めましょう。

#### 【幼穂形成期追肥のポイント】

- 幼穂形成期追肥の目的
  - ➡ 幼穂形成期追肥の目的は、1穂粒数の増加、分けつの減少防止による粒数の増加であり、茎数が不足している場合に効果が高い。
  - ➡ 生育量が過剰な場合には、倒伏の危険性が高まるので注意！
- 品種に適した追肥時期・追肥量（表4参照）
  - ➡ ササニシキ、みやこがねもちは倒伏しやすいので、原則として幼穂形成期追肥は行わない。つや姫の幼穂形成期はひとめぼれより10日程度遅いので注意！
- 基肥やほ場の地力を考慮
  - ➡ 基肥一発肥料を使用した場合、追肥は基本的に不要。
  - ➡ 黒泥や強グライ土、復元田では、生育後半に地力窒素が出るので注意！
  - ➡ 湛水直播栽培は倒伏しやすいので、幼穂形成期追肥は控える。
- 有機質を含む肥料を追肥するときは
  - ➡ 有機入り化成肥料は通常の化成肥料より肥効が遅く、また有機質肥料の割合が大きいほど肥効の発現が遅くなるので、使用する肥料の特徴を十分理解し、追肥時期を判断する。

表4 幼穂形成期追肥の生育量の目安

品種	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉色 (SPAD値)	窒素成分追肥量 (kg/10a)	施用時期
ひとめぼれ	56～59	470～530	38～40	1.0	出穂前 20～25日頃
ササニシキ	62～68	720～760	34～36	0.0	
まなむすめ	65～70	580～600	35～37	2.0	
つや姫	70～75	550～580	35～37	2.0	
だて正夢	64～70	390～460	40～42	1.0 (※2)	
金のいぶき	65～70	570～620	33～35	1.0	

※1:環境保全米では化成肥料窒素の施肥量の上限に注意ください。※2 だて正夢は幼穂形成期に生育量目安に達している場合、減数分裂期追肥2kg/10aを目安とする。

### 3 病害虫防除

病害虫発生速報 (6月13日, 6月15～17日調査)			病害虫防除所
			令和4年6月27日
病害虫名	調査時期	調査結果	備考
葉いもち	6月上旬～8月上旬	少	本田の発病は確認されませんでした。残苗での発病が確認されました。
紋枯病	6月中旬～9月上旬	少	畦畔際の発病は確認されませんでした。
ばか苗病	6月中旬～7月上旬	やや少	県北部の一部ほ場で発病が確認されました。
イネミズゾウムシ	5月中旬～6月中旬	平年並	広域で葉における軽度の被害が確認されました。
イネドロオイムシ	5月中旬～7月上旬	やや多	県北部を中心に発生が確認され、一部のほ場では多発生が確認されました。
コバネイナゴ	6月中旬～8月中旬	少	全体的に平年より少ない発生でした。
斑点米カメムシ類	7月上旬～8月中旬	やや少(牧草地・雑草地)	牧草地及び雑草地でのすくい取り調査の結果、広域でカスミカメムシ類の成虫及び幼虫の発生が確認されました。

### 4 斑点米カメムシ類対策

～ 出穂10日前までには草刈りを！ ～

◎ 雑草や牧草の刈取りは早めに実施し、出穂の10日前までには終わらせましょう。

出穂直前の除草は、斑点米カメムシ類を水田に侵入させる原因となります。

表5 (参考) 石巻管内の直近5年の出穂期

年次	始期	盛期	終期
平年値	7月30日	8月2日	8月12日
令和3年	7月25日	7月30日	8月8日
令和2年	8月1日	8月5日	8月12日
令和元年	8月1日	8月3日	8月7日
平成30年	7月29日	8月1日	8月10日
平成29年	7月29日	8月2日	8月19日

※ 出穂始期、出穂期、穂揃期は、それぞれ水稲作付見込面積の5%、50%、95%以上が出穂した日